

水島見一先生 聞法会



自分の境遇に満足できたということ、これが信心なのです。

『憶念の心つねにして』より

略歴 1950年、富山県に生まれる。
1973年、大谷大学文学部仏教学科卒業。
1978年、大谷大学大学院文学研究科博士後期課程仏教学専攻満期退学。
現在、大谷大学特別契約教授。博士（文学）。

著書 『近・現代真宗教学史研究序説—真宗大谷派における改革運動の軌跡—』（法藏館）
『信は生活にあり—高光大船の生涯—』（法藏館）
『大谷派なる宗教的精神—真宗同朋会運動の源流—』（東本願寺出版部）
『苦勞はいいもんや—聞法の生活—』（文栄堂）
『帰命の生活』（文栄堂）
『如来に芝居させられていた人生—生死を超える道—』（文栄堂）
『曾我教学—法蔵菩薩と宿業—』（編著、方丈堂）
『高光大船の世界—道ここに在り』（共編、東本願寺出版部）、『松原祐善講義集』（共編、文栄堂）など。

----- 切り取り線 -----

水島先生法話会参加申込書

参加できる所を○で囲んでください。 両日 一日目だけ 二日目だけ

お名前 _____ TEL _____
〒 住所 _____

もう葬式仏教の時代は終わりを告げつつある。お寺は人々が「本当に満足する道」を求める一点において存在しなければならない。その転換期に今差しかかっているのである。

親鸞聖人は、法然上人に一生涯聞法した。師はただ一人であった。水島先生は私にとってただ一人の師である。色々な先生に話を聞けばいいのではない。その一人の師に真宗の教え（我が人生に満足すること）を深く聞き抜くことが要なのだと思う。

この度、はじめて私の先生である水島見一先生をお呼びする機会をいただいた。私の聞法の際は、我が寺である。我が寺において本当に満足する道を聞きたい。ここに私が寺を担うということがある。

副住職 井上泰之

副住職は、現在、大谷大学大学院博士課程に在籍し親鸞聖人の生きた浄土真宗を生きるべく、縁あって水島見一先生に師事しています。

今回の法話会は、一年ほど前から検討しはじめ機会ごとに皆さまに紹介していますので、ご存じの方も多いと思います。まずはご自身が身を運び、さらに若い方々にもぜひお声かけをしていただければ有り難いと考えます。

「もう葬式仏教の時代は終わりを告げつつある」と、後継者は言う。では、「あなた様にとって、仏教は不必要なのか？それでも必要なのか？」と、皆さまに質問したい。

これを機縁に当寺を、そのようなことを皆さまと共に考えていく場所にしていきたい。

住職 井上孝昌

かつて「寺と関わるのは葬式と法事の時だけ」。そう思っていました。この10年間に寺はずいぶん変わりました。ともかくも世話人方や同朋の会の皆さんのお力添えで人が集まるようになり、聞法を大事にする人も少しずつ増えてまいりました。その仲間がさらに増え、若い人たちにそれを相続していくこと、それが今後の課題であります。

皆さまのご参加をお待ちしております。

責任役員 川名喜昭

※椅子席です。

- 1 日 時 2017年2月4日（土）～5日（日）
- 2 場 所 勝善寺本堂 南房総市二部 1344 TEL 0470-57-2657
- 3 日 程

一日目【4日（土）】

- 13:30～13:55 受付
- 14:00～14:20 開会（真宗宗歌・勤行・挨拶）
- 14:20～16:30** 休憩を入れて法話二座
- 16:30～16:40 諸連絡

二日目【5日（日）】

- 09:30～09:55 受付
- 10:00～11:45** 休憩を入れて法話二座
- 11:45～ 諸連絡

※二日間じっくりと聴聞して頂きたいですが、一日だけの参加もできます。また、勝善寺所属門徒（檀家）以外の方も歓迎します。

参加申込みは、電話・FAX・メールでも結構です。

TEL 0470-57-2657 FAX 0470-57-2290

メール info@syozenji.or.jp